

第4期 宍粟市地域福祉計画策定のための福祉に関する市民アンケート調査報告書（年齢×設問）

年齢区分

	～39歳		～64歳		65歳～		合計	
人数・割合	86	10.4%	287	34.6%	457	55.1%	830	—

市民アンケート調査に回答があった者の世代は、65歳以上が55.1%と高く、18～39歳は10.4%と低くなっています。

《参考》世代別回答率 42.3%（845人／2,000人）

18～39歳 20.4%（86人／422人）

40～64歳 39.6%（287人／724人）

65歳以上 52.9%（452人／845人）

年齢×問7 あなたは福祉に関心をお持ちですか。

	～39歳		～64歳		65歳～		合計	
とても関心がある	16	18.6%	58	20.2%	148	32.7%	222	26.9%
まあまあ関心がある	37	43.0%	168	58.5%	241	53.3%	446	54.1%
あまり関心がない	27	31.4%	55	19.2%	54	11.9%	136	16.5%
まったく関心がない	6	7.0%	6	2.1%	9	2.0%	21	2.5%
合計	86	—	287	—	452	—	825	—

福祉への関心は「とても関心がある」、「まあまあ関心がある」の割合が年齢に比例して高くなっています。
18～39歳の者の約4割が「あまり関心がない」、「まったく関心がない」となっています。

年齢×問8 あなたは、自治会やPTAなどの地域活動をしたことがありますか。

	～39歳		～64歳		65歳～		合計	
現在活動している	29	34.1%	156	55.3%	124	27.9%	309	38.1%
過去に活動していたが、現在はしていない	17	20.0%	99	35.1%	273	61.3%	389	47.9%
活動したことはない	39	45.9%	27	9.6%	48	10.8%	114	14.0%
合計	85	—	282	—	445	—	812	—

地域活動の経験は、18～39歳では54.1%ですが、40歳以上では約9割と高くなっています。
現在の活動状況では40～64歳がピークで、65歳以上になると、18～39歳よりも低い割合となっています。

年齢×問9 あなたは普段、近所の人とどの程度の付き合いをされていますか。

	～39歳		～64歳		65歳～		合計	
家族ぐるみでとても親しく付き合っている	8	9.5%	29	10.1%	81	18.0%	118	14.4%
ある程度親しく付き合っている	21	25.0%	114	39.9%	226	50.2%	361	44.0%
会えばあいさつする程度の付き合いである	44	52.4%	130	45.5%	127	28.2%	301	36.7%
ほとんど（もしくはまったく）付き合いはない	11	13.1%	13	4.5%	16	3.6%	40	4.9%
合計	84	—	286	—	450	—	820	—

近所の人との付き合いは、年齢と比例して親密度が高くなっています。
18～39歳の13.1%が「ほとんど（もしくはまったく）付き合いはない」と回答しています。

年齢×問10 近所の人と付き合いされる理由は何ですか。(いくつでも)

	～39歳(n=73)		～64歳(n=273)		65歳～(n=434)		合計(n=830)	
近所の人と親しく相談したり、助け合ったりするのは当然だから	43	58.9%	176	64.5%	322	74.2%	541	69.4%
災害時、緊急時などでお互いに助け合うためには、日常の付き合いは大切だから	34	46.6%	160	58.6%	284	65.4%	478	61.3%
地域のコミュニティづくりに必要だから	35	47.9%	138	50.5%	212	48.8%	385	49.4%
地域の情報を知ることができるから	21	28.8%	88	32.2%	210	48.4%	319	40.9%
ひきこもりや孤立化、虐待防止などに役立つから	3	4.1%	28	10.3%	56	12.9%	87	11.2%
地域の防犯対策のため	3	4.1%	63	23.1%	104	24.0%	170	21.8%
その他	4	5.5%	13	4.8%	3	0.7%	20	2.6%

年齢に比例して、近所の人と付き合いするのは当然という意識が高くなっています。

年齢×問11 近所の人と付き合いをされない理由は何ですか。(いくつでも)

	～39歳(n=11)		～64歳(n=13)		65歳～(n=16)		合計(n=40)	
普段顔を合わせる機会がないから	8	72.7%	5	38.5%	6	37.5%	19	47.5%
面倒だから	5	45.5%	2	15.4%	1	6.3%	8	20.0%
人と付き合うのが苦手だから	3	27.3%	2	15.4%	3	18.8%	8	20.0%
ご近所トラブルなどに巻き込まれたくないから	2	18.2%	2	15.4%	2	12.5%	6	15.0%
他人に干渉されたくないから	4	36.4%	5	38.5%	1	6.3%	10	25.0%
その他	2	18.2%	3	23.1%	6	37.5%	11	27.5%

全ての年代で「普段顔を合わせる機会がない」ことが近所の人と付き合いをしない理由として最も高い割合を占めています。特に18～39歳では72.7%と突出して高くなっています。

18～39歳では、近所の人との付き合いに煩わしさを感じている割合が高いことが伺えます。

年齢×問12 あなたは近所の人から頼まれた場合、どのようなことができると思いますか。（いくつでも）

	～39歳(n=86)		～64歳(n=287)		65歳～(n=452)		合計(n=830)	
安否確認の声かけや見守り	60	69.8%	212	73.9%	310	67.8%	582	70.1%
訪問などによる話し相手	24	27.9%	98	34.1%	169	37.0%	291	35.1%
買い物	27	31.4%	118	41.1%	129	28.2%	274	33.0%
短時間の子どもの預かり	17	19.8%	58	20.2%	38	8.3%	113	13.6%
外出（通院や買い物など）の送迎	16	18.6%	94	32.8%	89	19.5%	199	24.0%
庭の手入れや掃除の手伝い	16	18.6%	65	22.6%	93	20.4%	174	21.0%
郵便物・宅配物などの一時預かり	39	45.3%	140	48.8%	166	36.3%	345	41.6%
冠婚葬祭の手伝い	14	16.3%	124	43.2%	157	34.4%	295	35.5%
災害など緊急時の手助け	52	60.5%	202	70.4%	215	47.0%	469	56.5%
その他	2	2.3%	8	2.8%	9	2.0%	19	2.3%

近所の人からの頼まれごとでは、全ての世代で「安否確認の声かけや見守り」が最も高い割合となっており、全体で70.1%となっています。「短時間の子ども預かり」が全体で13.6%と最も低い割合となっています。

年齢×新型コロナウイルス感染症拡大が始まった令和2年（2020年）3月頃より前と比べて現在の日常生活にどのような変化がありますか。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
生活全体	良くなった	9	10.6%	15	5.3%	30	6.9%	54	6.7%
	まあ良くなった	21	24.7%	43	15.1%	67	15.4%	131	16.3%
	変わらない	40	47.1%	165	57.9%	261	59.9%	466	57.8%
	やや悪くなった	13	15.3%	52	18.2%	55	12.6%	120	14.9%
	悪くなった	2	2.4%	10	3.5%	23	5.3%	35	4.3%
合計		85	—	285	—	436	—	806	—

生活全体では、全ての世代で「変わらない」が最も高く、全体では57.8%となっています。

「（やや）悪くなった」の割合が40～64歳で2割以上となっており、新型コロナウイルス感染症拡大による生活全体の影響が伺えます。

年齢×新型コロナウイルス感染症拡大が始まった令和2年（2020年）3月頃より前と比べて現在の日常生活にどのような変化がありますか。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
家族との関係	良くなった	9	10.6%	17	6.0%	28	6.5%	54	6.8%
	まあ良くなった	7	8.2%	22	7.8%	48	11.2%	77	9.7%
	変わらない	67	78.8%	233	82.6%	339	79.0%	639	80.3%
	やや悪くなった	2	2.4%	6	2.1%	13	3.0%	21	2.6%
	悪くなった	0	0.0%	4	1.4%	1	0.2%	5	0.6%
合計		85	—	282	—	429	—	796	—

家族との関係では、全ての世代で「変わらない」が最も高く、全体では80.3%となっています。

「（やや）悪くなった」の割合は3%前後と低く、新型コロナウイルス感染拡大による家族との関係への影響が低いことが伺えます。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
家族以外の親しい人との関係	良くなった	7	8.2%	10	3.5%	25	5.8%	42	5.2%
	まあ良くなった	8	9.4%	30	10.5%	46	10.7%	84	10.5%
	変わらない	54	63.5%	195	67.9%	296	68.8%	545	68.0%
	やや悪くなった	12	14.1%	46	16.0%	59	13.7%	117	14.6%
	悪くなった	4	4.7%	6	2.1%	4	0.9%	14	1.7%
合計		85	—	287	—	430	—	802	—

家族との関係では、全ての世代で「変わらない」が最も高く、全体では68.0%となっています。

家族との関係と比べて、「変わらない」の割合が低く、「（やや）悪くなった」の割合が高いことから、新型コロナウイルス感染拡大による家族以外の親しい人との関係への影響が高いことが伺えます。

年齢×新型コロナウイルス感染症拡大が始まった令和2年（2020年）3月頃より前と比べて現在の日常生活にどのような変化がありますか。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
地域・社会との つながりの	良くなった	4	4.7%	7	2.4%	18	4.3%	29	3.7%
	まあ良くなった	11	12.9%	29	10.1%	45	10.7%	85	10.7%
	変わらない	53	62.4%	165	57.7%	260	61.8%	478	60.4%
	やや悪くなった	15	17.6%	74	25.9%	88	20.9%	177	22.3%
	悪くなった	2	2.4%	11	3.8%	10	2.4%	23	2.9%
合計		85	—	286	—	421	—	792	—

地域・社会とのつながりでは、全ての世代で「変わらない」が最も高く、全体では60.4%となっています。
40～64歳では「（やや）悪くなった」が約3割と高くなっており、新型コロナウイルス感染拡大による地域・社会とのつながりへの影響が高いことが伺えます。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
働き方（学習環境・職場環境を含む）	良くなった	7	8.2%	10	3.5%	11	2.9%	28	3.8%
	まあ良くなった	17	20.0%	32	11.3%	30	8.0%	79	10.6%
	変わらない	40	47.1%	184	64.8%	260	69.3%	484	65.1%
	やや悪くなった	17	20.0%	52	18.3%	64	17.1%	133	17.9%
	悪くなった	4	4.7%	6	2.1%	10	2.7%	20	2.7%
合計		85	—	284	—	375	—	744	—

地域・社会とのつながりでは、全ての世代で「変わらない」が最も高く、全体では65.1%となっています。
18～39歳では「（やや）悪くなった」が約25%と高くなっており、新型コロナウイルス感染拡大による学習環境・職場環境への影響が高いことが伺えます。

年齢×新型コロナウイルス感染症拡大が始まった令和2年（2020年）3月頃より前と比べて現在の日常生活にどのような変化がありますか。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
心身の健康状態	良くなった	9	10.7%	13	4.5%	17	4.0%	39	4.9%
	まあ良くなった	10	11.9%	27	9.4%	42	9.9%	79	9.9%
	変わらない	53	63.1%	194	67.6%	291	68.6%	538	67.7%
	やや悪くなった	8	9.5%	44	15.3%	64	15.1%	116	14.6%
	悪くなった	4	4.8%	9	3.1%	10	2.4%	23	2.9%
合計		84	—	287	—	424	—	795	—

心身の健康状態では、全ての世代で「変わらない」が最も高く、全体では67.7%となっています。

40歳以上では「（やや）悪くなった」が約18%と高くなっており、新型コロナウイルス感染症拡大による心身の健康状態への影響が高いことが伺えます。

年齢×問14 あなたは「自分は孤立している。孤独である」と感じることはありますか。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
感じていない		45	52.3%	140	49.0%	221	49.4%	406	49.6%
ほとんど感じてない		29	33.7%	95	33.2%	152	34.0%	276	33.7%
時々感じている		11	12.8%	39	13.6%	66	14.8%	116	14.2%
しばしば感じている・常に感じている		1	1.2%	12	4.2%	8	1.8%	21	2.6%
合計		86	—	286	—	447	—	819	—

孤独・孤立感に顕著な世代別特徴は認められないが、40～64歳で「しばしば感じている・常に感じている」の割合が4.2%と少し高くなっている。

全ての世代で「時々感じている」、「しばしば感じている・常に感じている」の割合が15%前後となっている。

年齢×問15 あなたが孤立・孤独を感じる原因は何だと思えますか。（3つまで）

	～39歳(n=12)		～64歳(n=51)		65歳～(n=74)		合計(n=137)	
友人や親しい人と会う機会が減少したため	1	8.3%	13	25.5%	37	50.0%	51	37.2%
家族との関係が良好でないため	0	0.0%	5	9.8%	5	6.8%	10	7.3%
学校や職場に行く機会が減少したため	0	0.0%	1	2.0%	3	4.1%	4	2.9%
不安や悩みを相談できる人がいないため	2	16.7%	6	11.8%	8	10.8%	16	11.7%
ひとり暮らしのため	0	0.0%	4	7.8%	15	20.3%	19	13.9%
居場所がないため	0	0.0%	2	3.9%	0	0.0%	2	1.5%
わからない	2	16.7%	2	3.9%	7	9.5%	11	8.0%
その他	1	8.3%	2	3.9%	3	4.1%	6	4.4%

孤立・孤独を感じる原因として、年齢に比例して「友人や親しい人と会う機会が減少したため」の割合が高くなっている。18～39歳では、「不安や悩みを相談できる人がいないため」と「わからない」の割合が16.7%と高くなっている。

年齢×問16 あなたは、ボランティア活動（地域活動を含む）に参加したことがありますか。

	～39歳		～64歳		65歳～		合計	
現在活動している	9	10.5%	77	27.3%	100	22.8%	186	23.0%
過去に活動していたが、現在はしていない	22	25.6%	84	29.8%	170	38.7%	276	34.2%
参加したことはないが、機会があれば今後参加したい	29	33.7%	75	26.6%	104	23.7%	208	25.8%
参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない	26	30.2%	46	16.3%	65	14.8%	137	17.0%
合計	86	—	282	—	439	—	807	—

ボランティアに参加したことがある者と機会があれば参加したいという割合が7割～8割以上と高くなっている。18～39歳では「参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」の割合が30.2%と高くなっている。

年齢×問17 あなたは、どのような団体に所属していますか。(いくつでも)

	～39歳(n=86)		～64歳(n=287)		65歳～(n=452)		合計(n=830)	
自治会	27	31.4%	215	74.9%	272	59.5%	514	61.9%
老人クラブ	0	0.0%	1	0.3%	228	49.9%	229	27.6%
子ども会	13	15.1%	20	7.0%	5	1.1%	38	4.6%
PTA	15	17.4%	40	13.9%	2	0.4%	57	6.9%
民生委員・児童委員	0	0.0%	7	2.4%	16	3.5%	23	2.8%
趣味や娯楽のグループ	2	2.3%	23	8.0%	71	15.5%	96	11.6%
スポーツクラブ・サークル	3	3.5%	26	9.1%	36	7.9%	65	7.8%
ボランティアグループ	3	3.5%	20	7.0%	52	11.4%	75	9.0%
芸術・学習サークル	3	3.5%	5	1.7%	17	3.7%	25	3.0%
その他	4	4.7%	11	3.8%	19	4.2%	34	4.1%
所属していない	39	45.3%	43	15.0%	39	8.5%	121	14.6%

世代別の団体への所属状況として、18～39歳では「所属していない」が45.3%と最も高く、40～64歳では「自治会」が74.9%と突出して高くなっている。65歳以上では、約半数が老人クラブに所属している。

年齢×問18 これらの活動に参加する理由はどのようなことですか。(いくつでも)

	～39歳(n=47)		～64歳(n=244)		65歳～(n=413)		合計(n=704)	
新たな友人や仲間ができる	13	27.7%	46	18.9%	142	34.0%	201	28.3%
生きがいを得ることができる	4	8.5%	28	11.5%	103	24.6%	135	19.0%
健康や体力づくりになる	2	4.3%	41	16.8%	166	39.7%	209	29.5%
活動が楽しい	10	21.3%	35	14.3%	80	19.1%	125	17.6%
自己啓発につながる	3	6.4%	33	13.5%	75	17.9%	111	15.7%
社会のために役立つ	9	19.1%	78	32.0%	75	17.9%	162	22.8%
社会的に評価される	2	4.3%	10	4.1%	6	1.4%	18	2.5%
感謝される	1	2.1%	14	5.7%	32	7.7%	47	6.6%
慣習	8	17.0%	69	28.3%	77	18.4%	154	21.7%
断ることができない	17	36.2%	87	35.7%	76	18.2%	180	25.4%
その他	0	0.0%	6	2.5%	1	0.2%	7	1.0%
特になし	4	8.5%	19	7.8%	25	6.0%	48	6.8%

団体へ所属（活動）する理由として、18～64歳では「断ることができない」が最も高くなっており、65歳以上では「健康や体力づくりになる」が39.7%と高くなっている。

「期待や楽しみ」を理由としている者がいる一方で、「断ることができない」、「慣習」といった理由も多いと認められる。

年齢×問19 住民が中心となつて行う地域活動として、1) 必要と思う活動について、お答えください。(いくつでも)

	～39歳(n=86)		～64歳(n=287)		65歳～(n=452)		合計(n=830)	
地域での趣味やスポーツ活動	41	47.7%	92	32.1%	150	32.8%	283	34.1%
地域の清掃活動や草刈り	55	64.0%	152	53.0%	218	47.7%	425	51.2%
世代間交流の場づくり	38	44.2%	119	41.5%	130	28.4%	287	34.6%
子どもの見守りや保育	53	61.6%	158	55.1%	132	28.9%	343	41.3%
高齢者の見守り、生活の手伝い	52	60.5%	166	57.8%	170	37.2%	388	46.7%
障がいのある人の見守り、生活の手伝い	45	52.3%	145	50.5%	130	28.4%	320	38.6%
外出時の移動の支援	38	44.2%	112	39.0%	104	22.8%	254	30.6%
災害時の助け合い	67	77.9%	221	77.0%	257	56.2%	545	65.7%
特にない	20	23.3%	54	18.8%	33	7.2%	107	12.9%

住民が中心となつて行う地域活動で必要と思う活動として、全ての世代で「災害時の助け合い」が高くなっている。

一方、18～64歳では2割前後が「特にない」となっている。

年齢×問19 住民が中心となって行う地域活動として、2) 実際に参加している活動について、お答えください。(いくつでも)

	～39歳(n=86)		～64歳(n=287)		65歳～(n=452)		合計(n=830)	
地域での趣味やスポーツ活動	8	9.3%	42	14.6%	71	15.5%	121	14.6%
地域の清掃活動や草刈り	17	19.8%	162	56.4%	192	42.0%	371	44.7%
世代間交流の場づくり	4	4.7%	28	9.8%	42	9.2%	74	8.9%
子どもの見守りや保育	5	5.8%	21	7.3%	31	6.8%	57	6.9%
高齢者の見守り、生活の手伝い	2	2.3%	13	4.5%	32	7.0%	47	5.7%
障がいのある人の見守り、生活の手伝い	4	4.7%	10	3.5%	14	3.1%	28	3.4%
外出時の移動の支援	0	0.0%	9	3.1%	6	1.3%	15	1.8%
災害時の助け合い	2	2.3%	16	5.6%	14	3.1%	32	3.9%
特にない	15	17.4%	29	10.1%	32	7.0%	76	9.2%

住民が中心となって行う地域活動で参加している活動では、全ての世代で「地域での清掃活動や草刈り」が突出して高く、「地域での趣味やスポーツ活動」を除いて、参加している割合は1割未満となっている。

年齢×問20 参加していない理由は何ですか。(いくつでも)

	～39歳(n=15)		～64歳(n=29)		65歳～(n=32)		合計(n=76)	
忙しくて時間がない	6	40.0%	10	34.5%	7	21.9%	23	30.3%
活動に興味がない	1	6.7%	4	13.8%	2	6.3%	7	9.2%
人間関係がわずらわしい	2	13.3%	4	13.8%	3	9.4%	9	11.8%
一緒に参加する人がいない	2	13.3%	0	0.0%	5	15.6%	7	9.2%
きっかけがない	6	40.0%	7	24.1%	7	21.9%	20	26.3%
どこで活動しているかわからない	1	6.7%	3	10.3%	3	9.4%	7	9.2%
健康や体力に自信がない	1	6.7%	2	6.9%	15	46.9%	18	23.7%
その他	1	6.7%	1	3.4%	4	12.5%	6	7.9%

地域活動に参加していない理由として、18～39歳では「忙しくて時間がない」、「きっかけがない」が40.0%と最も高くなっています。

40～64歳では、「忙しくて時間がない」が34.5%と最も高く、次いで「きっかけがない」24.1%となっています。

65歳以上では、「健康や体力に自信がない」が46.9%と最も高く、次いで「忙しくて時間がない」、「きっかけがない」21.9%となっています。

年齢×問21 時間がない理由は何ですか。(いくつでも)

	～39歳(n=6)		～64歳(n=10)		65歳～(n=7)		合計(n=23)	
仕事	6	100%	10	100%	5	71.4%	21	91.3%
家事	2	33.3%	4	40.0%	1	14.3%	7	30.4%
育児	2	33.3%	3	30.0%	0	0.0%	5	21.7%
家族の介護・介助	1	16.7%	2	20.0%	2	28.6%	5	21.7%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

時間がない理由は、全ての世代で「仕事」が突出して高く、全体でも91.3%となっています。

年齢×問22 あなたご自身が、不安に思っていることや悩んでいることはありますか。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
1位	自分や家族の健康	17	21.0%	109	40.5%	206	56.1%	332	46.3%
	老後の生活や家族の介護	7	8.6%	67	24.9%	65	17.7%	139	19.4%
	生活費など経済的問題	11	13.6%	26	9.7%	37	10.1%	74	10.3%
	仕事	4	4.9%	9	3.3%	4	1.1%	17	2.4%
	育児・子育て	6	7.4%	5	1.9%	0	0.0%	11	1.5%
	家族との関係	2	2.5%	3	1.1%	2	0.5%	7	1.0%
	職場の人との関係	1	1.2%	2	0.7%	0	0.0%	3	0.4%
	隣近所の人との関係	1	1.2%	2	0.7%	2	0.5%	5	0.7%
	子どもの不登校	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
	住まい	0	0.0%	2	0.7%	1	0.3%	3	0.4%
	通院・買い物などの移動手段	1	1.2%	2	0.7%	9	2.5%	12	1.7%
	本人もしくは家族のひきこもり	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	1	0.1%
	地域医療・かかりつけ医	5	6.2%	5	1.9%	4	1.1%	14	2.0%
	地震や豪雨などの災害	13	16.0%	19	7.1%	22	6.0%	54	7.5%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	2	0.5%	2	0.3%
	特にない	12	14.8%	18	6.7%	12	3.3%	42	5.9%
合計		81	—	269	—	367	—	717	—

不安に思っていることや悩んでいることの1番目は、全ての世代で「自分や家族の健康」が突出して高く、全体でも46.3%となっています。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
2位	自分や家族の健康	7	9.2%	37	14.4%	42	12.7%	86	12.0%
	老後の生活や家族の介護	7	9.2%	87	33.9%	118	35.5%	212	29.6%
	生活費など経済的問題	19	25.0%	35	13.6%	45	13.6%	99	13.8%
	仕事	5	6.6%	10	3.9%	10	3.0%	25	3.5%
	育児・子育て	10	13.2%	4	1.6%	1	0.3%	15	2.1%
	家族との関係	0	0.0%	7	2.7%	9	2.7%	16	2.2%
	職場の人との関係	2	2.6%	1	0.4%	1	0.3%	4	0.6%
	隣近所の人との関係	0	0.0%	4	1.6%	9	2.7%	13	1.8%
	子どもの不登校	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	住まい	2	2.6%	4	1.6%	10	3.0%	16	2.2%
	通院・買い物などの移動手段	1	1.3%	10	3.9%	23	6.9%	34	4.7%
	本人もしくは家族のひきこもり	0	0.0%	6	2.3%	1	0.3%	7	1.0%
	地域医療・かかりつけ医	3	3.9%	13	5.1%	29	8.7%	45	6.3%
	地震や豪雨などの災害	10	13.2%	33	12.8%	30	9.0%	73	10.2%
	その他	1	1.3%	1	0.4%	0	0.0%	2	0.3%
特になし	9	11.8%	5	1.9%	4	1.2%	18	2.5%	
合計		76	—	257	—	332	—	665	—

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
3位	自分や家族の健康	3	4.4%	24	9.8%	23	7.5%	50	7.0%
	老後の生活や家族の介護	3	4.4%	33	13.5%	25	8.1%	61	8.5%
	生活費など経済的問題	6	8.8%	36	14.7%	56	18.2%	98	13.7%
	仕事	12	17.6%	17	6.9%	5	1.6%	34	4.7%
	育児・子育て	2	2.9%	2	0.8%	1	0.3%	5	0.7%
	家族との関係	1	1.5%	8	3.3%	6	1.9%	15	2.1%
	職場の人との関係	2	2.9%	4	1.6%	1	0.3%	7	1.0%
	隣近所の人との関係	3	4.4%	8	3.3%	14	4.5%	25	3.5%
	子どもの不登校	1	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
	住まい	4	5.9%	16	6.5%	13	4.2%	33	4.6%
	通院・買い物などの移動手段	5	7.4%	15	6.1%	44	14.3%	64	8.9%
	本人もしくは家族のひきこもり	0	0.0%	2	0.8%	5	1.6%	7	1.0%
	地域医療・かかりつけ医	5	7.4%	16	6.5%	36	11.7%	57	7.9%
	地震や豪雨などの災害	7	10.3%	50	20.4%	67	21.8%	124	17.3%
	その他	1	1.5%	2	0.8%	1	0.3%	4	0.6%
特になし	13	19.1%	12	4.9%	11	3.6%	36	5.0%	
合計		68	—	245	—	308	—	621	—

年齢×問22 あなたご自身が、不安に思っていることや悩んでいることはありますか。(点数・順位)

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
点数	自分や家族の健康	68	点	425	点	725	点	1218	点
	老後の生活や家族の介護	38	点	408	点	456	点	902	点
	生活費など経済的問題	77	点	184	点	257	点	518	点
	仕事	34	点	64	点	37	点	135	点
	育児・子育て	40	点	25	点	3	点	68	点
	家族との関係	7	点	31	点	30	点	68	点
	職場の人との関係	9	点	12	点	3	点	24	点
	隣近所の人との関係	6	点	22	点	38	点	66	点
	子どもの不登校	4	点	0	点	0	点	4	点
	住まい	8	点	30	点	36	点	74	点
	通院・買い物などの移動手段	10	点	41	点	117	点	168	点
	本人もしくは家族のひきこもり	0	点	14	点	10	点	24	点
	地域医療・かかりつけ医	26	点	57	点	106	点	189	点
	地震や豪雨などの災害	66	点	173	点	193	点	432	点
	その他	3	点	4	点	7	点	14	点
特になし	67	点	76	点	55	点	198	点	
合計		463	点	1566	点	2073	点	4102	点

※点数＝1位の人数×3点＋2位の人数×2点＋3位の人数×1点

不安に思っていることや悩んでいることを点数化すると、18～39歳は「生活費など経済的問題」が最も高く、次いで「自分や家族の健康」となっています。

40歳以上では、「自分や家族の健康」が最も高く、次いで「老後の生活や家族の介護」となっています。

年齢×問23 あなたは、不安や悩みをだれ（どこ）に相談していますか。（いくつでも）

	～39歳(n=86)		～64歳(n=287)		65歳～(n=452)		合計(n=830)	
家族、親戚、きょうだい	66	76.7%	214	74.6%	336	73.5%	616	74.2%
友人	43	50.0%	130	45.3%	151	33.0%	324	39.0%
隣近所の人	3	3.5%	24	8.4%	53	11.6%	80	9.6%
自治会役員	0	0.0%	3	1.0%	12	2.6%	15	1.8%
民生委員・児童委員	1	1.2%	0	0.0%	13	2.8%	14	1.7%
かかりつけの医師	4	4.7%	26	9.1%	76	16.6%	106	12.8%
職場の人	19	22.1%	56	19.5%	12	2.6%	87	10.5%
学校の先生・保育士・幼稚園教諭	6	7.0%	3	1.0%	0	0.0%	9	1.1%
市役所などの官公庁	0	0.0%	4	1.4%	14	3.1%	18	2.2%
地域包括支援センター。 ※	0	0.0%	3	1.0%	12	2.6%	15	1.8%
基幹相談支援センター。 ※	0	0.0%	3	1.0%	2	0.4%	5	0.6%
ケアマネジャー、相談支援専門員など	4	4.7%	12	4.2%	50	10.9%	66	8.0%
社会福祉協議会	2	2.3%	2	0.7%	14	3.1%	18	2.2%
SNSなどインターネットを通じた相談窓口	0	0.0%	1	0.3%	1	0.2%	2	0.2%
相談していない	14	16.3%	39	13.6%	61	13.3%	114	13.7%
その他	3	3.5%	2	0.7%	5	1.1%	10	1.2%

不安や悩みの相談先は、全ての世代で「家族、親戚、きょうだい」が突出して高く、次いで「友人」となっています。

年齢×問24 あなたが住んでいる地域の中で、どのような課題や問題があると思いますか。(いくつでも)

	～39歳(n=86)		～64歳(n=287)		65歳～(n=452)		合計(n=830)	
子育てに関すること	37	43.0%	60	20.9%	29	6.3%	126	15.2%
共働き家庭の子どもの生活に関すること	30	34.9%	50	17.4%	36	7.9%	116	14.0%
ひとり親の子育てに関すること	17	19.8%	31	10.8%	23	5.0%	71	8.6%
高齢者の社会参加や生きがいづくりに関すること	13	15.1%	91	31.7%	158	34.6%	262	31.6%
高齢者世帯への生活支援に関すること	24	27.9%	138	48.1%	199	43.5%	361	43.5%
障がいのある人の社会参加や生きがいづくりに関すること	13	15.1%	46	16.0%	33	7.2%	92	11.1%
障がいのある人への生活支援に関すること	14	16.3%	43	15.0%	47	10.3%	104	12.5%
身寄りのない人の生活に関すること	13	15.1%	53	18.5%	61	13.3%	127	15.3%
子どもや高齢者、障がいのある人などへの虐待対策に関すること	5	5.8%	21	7.3%	21	4.6%	47	5.7%
不登校に関すること	9	10.5%	21	7.3%	10	2.2%	40	4.8%
青少年の健全育成に関すること	4	4.7%	14	4.9%	12	2.6%	30	3.6%
健康づくりについての意識や知識に関すること	7	8.1%	40	13.9%	77	16.8%	124	14.9%
ひきこもりに関すること	4	4.7%	25	8.7%	23	5.0%	52	6.3%
自殺対策に関すること	5	5.8%	15	5.2%	8	1.8%	28	3.4%
防犯など地域の安全に関すること	15	17.4%	97	33.8%	115	25.2%	227	27.3%
その他	7	8.1%	17	5.9%	11	2.4%	35	4.2%
特にない	20	23.3%	30	10.5%	74	16.2%	124	14.9%

住んでいる地域の課題や問題について、18～39歳では「子育てに関すること」が43.0%と最も高く、次いで「共働き家庭の子どもの生活に関すること」34.9%となっています。

40～64歳では、「高齢者世帯への生活支援に関すること」が48.1%と最も高く、次いで「防犯など地域の安全に関すること」33.8%となっています。

65歳以上では、「高齢者世帯への生活支援に関すること」が43.5%と最も高く、次いで「高齢者の社会参加や生きがいづくりに関すること」34.6%となっています。

年齢×問25 あなたが住んでいる地域の中で安心して暮らしていくために、地域にある組織や団体に対してどのような活動を期待していますか。

	～39歳(n=86)		～64歳(n=287)		65歳～(n=452)		合計(n=830)	
緊急事態が起きたときの対応	55	64.0%	205	71.4%	289	63.2%	549	66.1%
地域内における決まりごと（ルール）の徹底	9	10.5%	34	11.8%	75	16.4%	118	14.2%
交通安全や防災・防犯などの活動	28	32.6%	87	30.3%	118	25.8%	233	28.1%
地域の道路や公園などの清掃活動	14	16.3%	35	12.2%	52	11.4%	101	12.2%
リサイクルや自然保護の活動	4	4.7%	15	5.2%	29	6.3%	48	5.8%
市民間のトラブルの仲介・解決	4	4.7%	20	7.0%	18	3.9%	42	5.1%
子どもや高齢者、障がいのある人に対する手助け	17	19.8%	78	27.2%	82	17.9%	177	21.3%
祭りや運動会などの市民同士の交流イベントの実施	12	14.0%	23	8.0%	52	11.4%	87	10.5%
文化・芸術・スポーツなどのサークル的な活動	7	8.1%	16	5.6%	20	4.4%	43	5.2%
市役所や社会福祉協議会などとの連絡調整	4	4.7%	25	8.7%	58	12.7%	87	10.5%
その他	1	1.2%	4	1.4%	5	1.1%	10	1.2%
特にない	14	16.3%	23	8.0%	41	9.0%	78	9.4%

住んでいる地域の中で安心して暮らしていくために、地域にある組織や団体に期待している活動では、全ての世代で「緊急事態が起きたときの対応」が突出して高く、全体でも66.1%となっています。次いで、「交通安全や防災・防犯などの活動」となっています。

18～39歳では、「特にない」が16.3%となっています。

年齢×問26 あなたが現在住んでいる地域の暮らしやすさはいかがですか。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
近隣の生活マナー	満足	20	23.5%	45	15.7%	45	10.6%	110	13.8%
	まあ満足	14	16.5%	69	24.1%	102	24.0%	185	23.2%
	普通	39	45.9%	139	48.6%	218	51.3%	396	49.7%
	やや不満	5	5.9%	25	8.7%	36	8.5%	66	8.3%
	不満	4	4.7%	8	2.8%	14	3.3%	26	3.3%
	わからない	3	3.5%	0	0.0%	10	2.4%	13	1.6%
合計		85	—	286	—	425	—	796	—

近隣の生活マナーでは、全ての世代で「普通」が最も高く、全体でも49.7%となっている。

次いで、18～39歳では、「満足」が23.5%、40歳以上では、「まあ満足」が高くなっており、近隣の生活マナーの満足度はやや高いと認められる。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
地域の防災体制	満足	12	14.1%	12	4.2%	20	4.8%	44	5.6%
	まあ満足	6	7.1%	46	16.3%	73	17.7%	125	16.0%
	普通	48	56.5%	176	62.2%	244	59.1%	468	59.9%
	やや不満	6	7.1%	28	9.9%	39	9.4%	73	9.3%
	不満	2	2.4%	7	2.5%	8	1.9%	17	2.2%
	わからない	11	12.9%	14	4.9%	29	7.0%	54	6.9%
合計		85	—	283	—	413	—	781	—

地域の防災体制では、全ての世代で「普通」が最も高く、全体でも59.9%となっている。

次いで、18～39歳では、「満足」が14.1%、40歳以上では、「まあ満足」が高くなっており、地域の防災体制の満足度はやや高いと認められる。

年齢×問26 あなたが現在住んでいる地域の暮らしやすさはいかがですか。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
福祉・保健・介護サービスや相談体制	満足	10	11.8%	11	3.9%	23	5.7%	44	5.7%
	まあ満足	4	4.7%	41	14.4%	69	17.0%	114	14.7%
	普通	38	44.7%	170	59.6%	242	59.5%	450	57.9%
	やや不満	7	8.2%	20	7.0%	31	7.6%	58	7.5%
	不満	2	2.4%	15	5.3%	4	1.0%	21	2.7%
	わからない	24	28.2%	28	9.8%	38	9.3%	90	11.6%
合計		85	—	285	—	407	—	777	—

福祉・保健・介護サービスや相談体制では、全ての世代で「普通」が最も高く、全体でも57.9%となっている。次いで、18～39歳では、「満足」が11.8%、40歳以上では、「まあ満足」が高くなっており、福祉・保健・介護サービスや相談体制の満足度はやや高いと認められる。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
病院など医療関係施設	満足	8	9.4%	9	3.1%	20	4.8%	37	4.7%
	まあ満足	7	8.2%	39	13.6%	60	14.5%	106	13.5%
	普通	27	31.8%	118	41.3%	164	39.7%	309	39.4%
	やや不満	22	25.9%	61	21.3%	101	24.5%	184	23.5%
	不満	13	15.3%	51	17.8%	57	13.8%	121	15.4%
	わからない	8	9.4%	8	2.8%	11	2.7%	27	3.4%
合計		85	—	286	—	413	—	784	—

病院など医療関係施設では、全ての世代で「普通」が最も高く、全体でも39.4%となっている。次いで、「やや不満」の割合が高く、全体でも23.5%となっており、「不満」を合わせると、約4割となっており、病院など医療関係施設の満足度が低いことが認められる。

年齢×問26 あなたが現在住んでいる地域の暮らしやすさはいかがですか。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
買い物などの便利 さ	満足	10	11.6%	22	7.7%	33	7.9%	65	8.2%
	まあ満足	12	14.0%	52	18.2%	65	15.6%	129	16.3%
	普通	27	31.4%	96	33.6%	142	34.1%	265	33.6%
	やや不満	17	19.8%	65	22.7%	101	24.2%	183	23.2%
	不満	16	18.6%	48	16.8%	69	16.5%	133	16.9%
	わからない	4	4.7%	3	1.0%	7	1.7%	14	1.8%
合計		86	—	286	—	417	—	789	—

買い物などの便利さでは、全ての世代で「普通」が最も高く、全体でも33.6%となっている。次いで、「やや不満」の割合が高く、全体でも23.2%となっており、「不満」を合わせると、約4割となっており、買い物などの便利さの満足度が低いことが認められる。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
公的な手続きの便 利さ	満足	7	8.4%	13	4.6%	15	3.7%	35	4.5%
	まあ満足	6	7.2%	28	9.8%	55	13.7%	89	11.6%
	普通	36	43.4%	142	49.8%	214	53.2%	392	50.9%
	やや不満	13	15.7%	57	20.0%	76	18.9%	146	19.0%
	不満	9	10.8%	34	11.9%	28	7.0%	71	9.2%
	わからない	12	14.5%	11	3.9%	14	3.5%	37	4.8%
合計		83	—	285	—	402	—	770	—

公的な手続きの便利さでは、全ての世代で「普通」が最も高く、全体でも50.9%となっている。次いで、「やや不満」の割合が高く、全体でも19.0%となっており、「不満」を合わせると、約3割となっており、公的な手続きの便利さの満足度がやや低いことが認められる。

年齢×問26 あなたが現在住んでいる地域の暮らしやすさはいかがですか。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
道路や交通機関などの使いやすさ	満足	11	13.1%	10	3.5%	13	3.2%	34	4.4%
	まあ満足	7	8.3%	23	8.1%	45	11.0%	75	9.7%
	普通	27	32.1%	100	35.2%	176	43.1%	303	39.0%
	やや不満	16	19.0%	76	26.8%	96	23.5%	188	24.2%
	不満	18	21.4%	72	25.4%	68	16.7%	158	20.4%
	わからない	5	6.0%	3	1.1%	10	2.5%	18	2.3%
合計		84	—	284	—	408	—	776	—

道路や交通機関などの使いやすさでは、全ての世代で「普通」が最も高く、全体でも39.0%となっている。次いで、「やや不満」、「不満」の割合が高く、4割以上となっており、道路や交通機関などの使いやすさの満足度が低いことが認められる。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
公園や緑地などの自然環境	満足	14	16.5%	14	4.9%	22	5.5%	50	6.5%
	まあ満足	14	16.5%	44	15.4%	62	15.4%	120	15.5%
	普通	35	41.2%	160	56.1%	230	57.2%	425	55.1%
	やや不満	11	12.9%	38	13.3%	43	10.7%	92	11.9%
	不満	4	4.7%	20	7.0%	17	4.2%	41	5.3%
	わからない	7	8.2%	9	3.2%	28	7.0%	44	5.7%
合計		85	—	285	—	402	—	772	—

公園や緑地などの自然環境では、全ての世代で「普通」が最も高く、全体でも55.1%となっている。次いで、「まあ満足」の割合が高く、全体でも15.5%となっており、公園や緑地などの自然環境の満足度はやや高いことが認められる。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
地域の雰囲気やイメージ	満足	15	17.9%	15	5.3%	24	5.9%	54	7.0%
	まあ満足	16	19.0%	43	15.1%	71	17.4%	130	16.8%
	普通	43	51.2%	178	62.5%	252	61.9%	473	61.0%
	やや不満	3	3.6%	23	8.1%	33	8.1%	59	7.6%
	不満	1	1.2%	21	7.4%	8	2.0%	30	3.9%
	わからない	6	7.1%	5	1.8%	19	4.7%	30	3.9%
合計		84	—	285	—	407	—	776	—

地域の雰囲気やイメージでは、全ての世代で「普通」が最も高く、全体でも61.0%となっている。次いで、「まあ満足」の割合が高く、全体でも16.8%となっており、地域の雰囲気やイメージの満足度はやや高いことが認められる。

年齢×問27 あなたが大災害（地震や豪雨、土砂災害など）に備えて日頃から地域で必要だと思っていることをお答えください

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
顔の見える関係づくりのために、日頃から地域でふれあえる機会を多くつくる	必要	64	79.0%	237	85.3%	342	90.5%	643	87.2%
	必要ない	17	21.0%	41	14.7%	36	9.5%	94	12.8%
合計		81	—	278	—	378	—	737	—

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
大災害時を想定した避難訓練などを定期的に行う	必要	62	76.5%	238	85.3%	343	90.5%	643	87.0%
	必要ない	19	23.5%	41	14.7%	36	9.5%	96	13.0%
合計		81	—	279	—	379	—	739	—

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
地域や自治会で自力での避難が難しい人の支援方法を検討する	必要	74	90.2%	266	95.0%	356	96.7%	696	95.3%
	必要ない	8	9.8%	14	5.0%	12	3.3%	34	4.7%
合計		82	—	280	—	368	—	730	—

年齢×問27 あなたが大災害（地震や豪雨、土砂災害など）に備えて日頃から地域で必要だと思っていることをお答えください

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
防災学習や地域のハザードマップづくりなど自主防災組織の活動を活発化する	必要	70	85.4%	253	91.0%	332	90.5%	655	90.1%
	必要ない	12	14.6%	25	9.0%	35	9.5%	72	9.9%
合計		82	—	278	—	367	—	727	—

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
災害時に備えて地域や自治会で個人情報のあるあり方を考える	必要	66	81.5%	225	81.2%	318	87.6%	609	84.5%
	必要ない	15	18.5%	52	18.8%	45	12.4%	112	15.5%
合計		81	—	277	—	363	—	721	—

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
必要物資を備蓄して災害に備える	必要	81	97.6%	262	94.2%	348	91.3%	691	93.1%
	必要ない	2	2.4%	16	5.8%	33	8.7%	51	6.9%
合計		83	—	278	—	381	—	742	—

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
その他	必要	7	20.6%	19	20.2%	21	43.8%	47	26.7%
	必要ない	27	79.4%	75	79.8%	27	56.3%	129	73.3%
合計		34	—	94	—	48	—	176	—

大災害（地震や豪雨、土砂災害など）に備えて日頃から地域で必要だと思っているとして、18～39歳では、「必要物資を備蓄して災害に備える」が97.6%最も高くなっています。次いで、「地域や自治会で自力での避難が難しい人の支援方法を検討する」90.2%となっています。

40歳以上では、「地域や自治会で自力での避難が難しい人の支援方法を検討する」が最も高くなっています。次いで、「必要物資を備蓄して災害に備える」となっています。

一方で、「顔の見える関係づくりのために、日頃から地域でふれあえる機会を多くつくる」や「大災害時を想定した避難訓練などを定期的に行う」は若い世代ほど必要ないという割合が高い傾向が認められます。

年齢×問27 あなたが大災害（地震や豪雨、土砂災害など）に備えて日頃から地域で対応できていると思っていることをお答えください

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
顔の見える関係づくりのために、日頃から地域でふれあえる機会を多くつくる	できている	31	39.7%	141	52.4%	198	56.1%	370	52.9%
	できていない	47	60.3%	128	47.6%	155	43.9%	330	47.1%
合計		78	—	269	—	353	—	700	—

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
大災害時を想定した避難訓練などを定期的に行う	できている	13	16.7%	80	29.7%	113	31.2%	206	29.1%
	できていない	65	83.3%	189	70.3%	249	68.8%	503	70.9%
合計		78	—	269	—	362	—	709	—

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
地域や自治会で自力での避難が難しい人の支援方法を検討する	できている	10	13.2%	52	19.5%	71	20.9%	133	19.5%
	できていない	66	86.8%	215	80.5%	269	79.1%	550	80.5%
合計		76	—	267	—	340	—	683	—

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
防災学習や地域のハザードマップづくりなど自主防災組織の活動を活発化する	できている	15	19.7%	81	30.7%	129	39.1%	225	33.6%
	できていない	61	80.3%	183	69.3%	201	60.9%	445	66.4%
合計		76	—	264	—	330	—	670	—

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
災害時に備えて地域や自治会で個人情報のある方を考える	できている	11	14.5%	70	27.0%	90	27.6%	171	25.9%
	できていない	65	85.5%	189	73.0%	236	72.4%	490	74.1%
合計		76	—	259	—	326	—	661	—

年齢×問27 あなたが大災害（地震や豪雨、土砂災害など）に備えて日頃から地域で対応できていると思っていることをお答えください

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
必要物資を備蓄して災害に備える	できている	23	30.3%	69	25.9%	68	20.1%	160	23.5%
	できていない	53	69.7%	197	74.1%	271	79.9%	521	76.5%
合計		76	—	266	—	339	—	681	—

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
その他	できている	2	5.6%	12	12.6%	10	22.7%	24	13.7%
	できていない	34	94.4%	83	87.4%	34	77.3%	151	86.3%
合計		36	—	95	—	44	—	175	—

大災害（地震や豪雨、土砂災害など）に備えて日頃から地域で対応できていることとして、全ての世代で「顔の見える関係づくりのために、日頃から地域でふれあえる機会を多くつくる」が最も高くなっています。次いで、18～39歳では、「必要物資を備蓄して災害に備える」30.3%が高くなっています。40歳以上では、「防災学習や地域のハザードマップづくりなど自主防災組織の活動を活発化する」が高くなっています。災害に備えて地域で対応できていると認識していることは、年齢と比例して高くなっていることが認められます。

年齢×問28 あなたは、現在住んでいる地域で大災害（地震や豪雨、土砂災害など）が起こるとしたら、どのようなことが不安ですか。（いくつ

	～39歳(n=86)		～64歳(n=287)		65歳～(n=452)		合計(n=830)	
避難場所がわからないこと	8	9.3%	23	8.0%	52	11.4%	83	10.0%
避難場所まで遠いこと	16	18.6%	48	16.7%	108	23.6%	172	20.7%
素早く避難できないこと	21	24.4%	48	16.7%	139	30.4%	208	25.1%
近所に避難できないと思う人がいること	11	12.8%	50	17.4%	50	10.9%	111	13.4%
住んでいる場所が孤立すること	20	23.3%	78	27.2%	104	22.8%	202	24.3%
食料や水を確保できないこと	51	59.3%	150	52.3%	204	44.6%	405	48.8%
避難場所の生活が長引くこと	49	57.0%	177	61.7%	252	55.1%	478	57.6%
電話などの通信手段が使えるなくなること	50	58.1%	146	50.9%	226	49.5%	422	50.8%
災害の情報を正確に収集できないこと	22	25.6%	104	36.2%	155	33.9%	281	33.9%
その他	6	7.0%	14	4.9%	12	2.6%	32	3.9%
特になし	6	7.0%	12	4.2%	23	5.0%	41	4.9%

地域で大災害が起こった場合、不安に感じていることとして、18～39歳では、「食料や水を確保できないこと」が59.3%と最も高く、次いで、「電話などの通信手段が使えるなくなること」58.1%となっています。

40歳以上では、「避難生活が長引くこと」が最も高く、次いで、40～64歳では、「食料や水を確保できないこと」52.3%、65歳以上では、「電話などの通信手段が使えるなくなること」49.5%となっています。

年齢×問29 あなたは、福祉サービスを利用していますか。（したことがあるを含む）

	～39歳		～64歳		65歳～		合計	
利用している（したことがある）	25	29.8%	65	23.0%	98	23.1%	188	23.8%
利用していない（したことがない）	59	70.2%	217	77.0%	326	76.9%	602	76.2%
合計	84	—	282	—	424	—	790	—

福祉サービスの利用経験は18～39歳が29.8%で最も高くなっています。

年齢×問30 利用した福祉サービスの種類は何ですか。(いくつでも)

	～39歳(n=25)		～64歳(n=65)		65歳～(n=98)		合計(n=188)	
子育て支援サービス	15	60.0%	26	40.0%	3	3.1%	44	23.4%
高齢者福祉サービス	1	4.0%	14	21.5%	39	39.8%	54	28.7%
介護サービス	6	24.0%	31	47.7%	72	73.5%	109	58.0%
障がい者福祉サービス	6	24.0%	8	12.3%	15	15.3%	29	15.4%
その他	0	0.0%	3	4.6%	2	2.0%	5	2.7%

利用経験のある福祉サービスとして、18～39歳では、「子育て支援サービス」が60.0%と最も高く、次いで、「介護サービス」、「障がい者福祉サービス」24.0%となっています。

40～64歳では、「介護サービス」が47.7%と最も高く、次いで、「子育て支援サービス」40.0%となっています。

65歳以上では、「介護サービス」が最も高く、次いで、「高齢者福祉サービス」39.8%となっています。

年齢×問31 福祉サービスの利用に関して何か困ったことはありましたか。(いくつでも)

	～39歳(n=25)		～64歳(n=65)		65歳～(n=98)		合計(n=188)	
どこに利用を申し込めばよいのかわからなかった	2	8.0%	8	12.3%	11	11.2%	21	11.2%
窓口の対応が悪かった、窓口でたらいまわしにされた	0	0.0%	1	1.5%	2	2.0%	3	1.6%
福祉サービスに関する情報が入手しにくかった	4	16.0%	6	9.2%	14	14.3%	24	12.8%
どのサービスがよいのかわからず、選びにくかった	3	12.0%	10	15.4%	12	12.2%	25	13.3%
利用したいサービスが利用できなかった	2	8.0%	4	6.2%	4	4.1%	10	5.3%
サービス内容に満足しなかった	0	0.0%	1	1.5%	3	3.1%	4	2.1%
困ったことはない	15	60.0%	36	55.4%	50	51.0%	101	53.7%
その他	1	4.0%	2	3.1%	0	0.0%	3	1.6%

福祉サービスの利用に関して何か困ったこととして、全ての世代で、「困ったことはない」が最も高くなっています。次いで、18～39歳では、「福祉サービスに関する情報が入手しにくかった」16.0%、40～64歳では、「どのサービスがよいのかわからず、選びにくかった」15.4%、65歳以上では、「福祉サービスに関する情報が入手しにくかった」14.3%となっています。

年齢×問32 あなたが福祉サービスを利用しない理由は何ですか。(いくつでも)

	～39歳(n=59)		～64歳(n=217)		65歳～(n=326)		合計(n=602)	
サービスを利用する必要がない	43	72.9%	176	81.1%	238	73.0%	457	75.9%
家族で対応できる	13	22.0%	39	18.0%	104	31.9%	156	25.9%
サービスの内容や利用の仕方がわからない	10	16.9%	23	10.6%	37	11.3%	70	11.6%
家族や親戚への気兼ねがある	0	0.0%	1	0.5%	1	0.3%	2	0.3%
近所の目が気になる	2	3.4%	6	2.8%	2	0.6%	10	1.7%
他人の世話にはなりたくない	0	0.0%	1	0.5%	8	2.5%	9	1.5%
経済的な負担が心配である	4	6.8%	17	7.8%	27	8.3%	48	8.0%
交通手段がない	1	1.7%	1	0.5%	2	0.6%	4	0.7%
その他	2	3.4%	5	2.3%	7	2.1%	14	2.3%

福祉サービスを利用しない理由として、全ての世代で、「サービスを利用する必要がない」が突出して高く、全体でも75.9%となっています。次いで、「家族で対応できる」となっています。

一方で、全ての世代で、「サービスの内容や利用の仕方がわからない」が1割以上あるなど、必要なサービスが利用できていない状況も認められます。

年齢×問33 「福祉サービス」に関してどのような情報が必要ですか。(いくつでも)

	～39歳(n=86)		～64歳(n=287)		65歳～(n=452)		合計(n=830)	
行政が提供する各種福祉サービスの種類・内容に関する詳細な情報	42	48.8%	186	64.8%	236	51.6%	464	55.9%
福祉サービス提供事業者の各種福祉サービスの種類・内容に関する詳細な情報	28	32.6%	160	55.7%	192	42.0%	380	45.8%
市や地域の保健・健康関連のイベント情報	15	17.4%	45	15.7%	53	11.6%	113	13.6%
健康づくりや生きがいづくり(講座、教室、サークル活動等)に関する情報	17	19.8%	60	20.9%	80	17.5%	157	18.9%
高齢者や障がいのある人が生活しやすい住宅や福祉機器についての情報	12	14.0%	60	20.9%	105	23.0%	177	21.3%
子ども・子育て支援に関する情報	42	48.8%	57	19.9%	19	4.2%	118	14.2%
健診等の保健医療に関する情報	16	18.6%	64	22.3%	79	17.3%	159	19.2%
年金の情報	15	17.4%	98	34.1%	74	16.2%	187	22.5%
介護保険の情報	11	12.8%	97	33.8%	134	29.3%	242	29.2%
生活保護、生活困窮者自立相談支援の情報	7	8.1%	36	12.5%	42	9.2%	85	10.2%
資金貸付制度に関する情報	9	10.5%	28	9.8%	14	3.1%	51	6.1%
地域の町内会・自治会等やボランティア等の組織の活動内容	3	3.5%	37	12.9%	47	10.3%	87	10.5%
その他	1	1.2%	2	0.7%	1	0.2%	4	0.5%
特になし	19	22.1%	22	7.7%	48	10.5%	89	10.7%

「福祉サービス」に関して必要な情報として、全ての世代で、「行政が提供する各種福祉サービスの種類・内容に関する詳細な情報」が最も高くなっています。世代ごとに利用する可能性が高いサービスが高い割合になっていますが、18～39歳の「子ども・子育て支援に関する情報」48.8%と突出しており、ニーズに対して、情報が不足していると推測されます。

年齢×問34 あなたは、「福祉サービス」に関する情報をどこから入手していますか。(いくつでも)

	～39歳(n=86)		～64歳(n=287)		65歳～(n=452)		合計(n=830)	
家族や友人・知人	40	46.5%	116	40.4%	171	37.4%	327	39.4%
市の広報紙	36	41.9%	173	60.3%	256	56.0%	465	56.0%
市役所の窓口・掲示板	9	10.5%	29	10.1%	34	7.4%	72	8.7%
インターネット・市のホームページ	25	29.1%	78	27.2%	30	6.6%	133	16.0%
民生委員・児童委員を通して	0	0.0%	4	1.4%	28	6.1%	32	3.9%
社会福祉協議会の窓口や広報紙	4	4.7%	35	12.2%	65	14.2%	104	12.5%
新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	3	3.5%	29	10.1%	71	15.5%	103	12.4%
ケアマネジャーや相談支援専門員	7	8.1%	36	12.5%	84	18.4%	127	15.3%
地域包括支援センター	1	1.2%	13	4.5%	28	6.1%	42	5.1%
基幹相談支援センター	2	2.3%	1	0.3%	1	0.2%	4	0.5%
医療機関	4	4.7%	22	7.7%	50	10.9%	76	9.2%
その他	3	3.5%	3	1.0%	0	0.0%	6	0.7%
特になし	19	22.1%	25	8.7%	38	8.3%	82	9.9%

福祉サービスに関する情報の入手方法として、18～39歳では、「家族や友人・知人」が46.5%と最も高く、次いで、「市の広報紙」41.9%となっています。

40歳以上では、「市の広報紙」が最も高く、次いで、「家族や友人・知人」となっています。

65歳未満では、「インターネット・市のホームページ」が3割近くなくなっていますが、65歳以上では6.6%と低くなっています。

年齢×問35 「福祉サービス」に関する必要な情報は入手できていますか。

	～39歳		～64歳		65歳～		合計	
十分入手できている	16	19.5%	31	11.4%	67	19.0%	114	16.1%
一部だけ入手できている	21	25.6%	96	35.2%	119	33.8%	236	33.4%
ほとんど入手できていない	11	13.4%	40	14.7%	56	15.9%	107	15.1%
必要な情報が何かわからない	21	25.6%	67	24.5%	58	16.5%	146	20.7%
情報を入手する必要がない	13	15.9%	39	14.3%	52	14.8%	104	14.7%
合計	82	—	273	—	352	—	707	—

福祉サービスに関する情報の入手状況として、全ての世代で、「一部だけ入手できている」が最も高く、全体では33.4%となっています。

18～39歳では、「必要な情報が何かわからない」が25.6%と同率で高くなっています。

18～64歳では、「ほとんど入手できていない」「必要な情報が何かわからない」の割合が約4割となっており、情報発信に課題があることが認められます。

年齢×問36 あなたは、住んでいる地域を担当している民生委員・児童委員に相談したことがありますか。

	～39歳		～64歳		65歳～		合計	
相談したことがある	5	5.8%	11	3.9%	26	6.3%	42	5.4%
相談したことがない	55	64.0%	242	85.8%	372	89.9%	669	85.5%
担当の民生委員・児童委員がわからない	26	30.2%	29	10.3%	16	3.9%	71	9.1%
合計	86	—	282	—	414	—	782	—

民生委員・児童委員への相談として、全ての世代で、「相談したことがある」の割合が5%前後となっています。

18～39歳では、「担当の民生委員・児童委員がわからない」が30.2%となっており、平均よりも20%以上高くなっています。

年齢×問37 相談したことがない理由は何ですか。(3つまで)

	～39歳(n=55)		～64歳(n=242)		65歳～(n=372)		合計(n=669)	
相談することがない	49	89.1%	207	85.5%	310	83.3%	566	84.6%
よく知らない人に相談することは不安	2	3.6%	23	9.5%	28	7.5%	53	7.9%
他人との関わりを持ちたくない	1	1.8%	3	1.2%	5	1.3%	9	1.3%
他人に迷惑をかけたくない	1	1.8%	7	2.9%	19	5.1%	27	4.0%
自分の力で何とかしたい	2	3.6%	9	3.7%	40	10.8%	51	7.6%
自分のことを知られたくない	3	5.5%	5	2.1%	11	3.0%	19	2.8%
相談しても、解決すると思えない	3	5.5%	21	8.7%	34	9.1%	58	8.7%
その他	0	0.0%	5	2.1%	4	1.1%	9	1.3%

民生委員・児童委員に相談したことがない理由として、全ての世代で、「相談することがない」が突出して高く、全体で84.6%となっています。

年齢×問38 あなたは、これまで社会福祉協議会の相談窓口の利用、もしくは、サービスの利用をしたことがありますか。

	～39歳		～64歳		65歳～		合計	
相談（サービスの利用）したことがある	6	9.8%	39	20.7%	87	24.2%	132	21.7%
相談（サービスの利用）したことがない	42	68.9%	140	74.5%	261	72.5%	443	72.7%
わからない	13	21.3%	9	4.8%	12	3.3%	34	5.6%
合計	61	—	188	—	360	—	609	—

社会福祉協議会の相談窓口、サービスの利用経験として、全ての世代で、「相談（サービスの利用）したことがない」が突出して高く、全体で72.7%となっています。

「相談（サービスの利用）したことがある」の割合は、年齢に比例して高くなっています。

年齢×問39 社会福祉協議会が行う活動・支援として、今後、充実してほしいものはどれですか。（いくつでも）

	～39歳(n=86)		～64歳(n=287)		65歳～(n=452)		合計(n=830)	
ボランティア活動への参加促進と支援	8	9.3%	50	17.4%	51	11.2%	109	13.1%
住民による見守りや支え合い活動への支援	17	19.8%	73	25.4%	112	24.5%	202	24.3%
ふれあい喫茶やサロンなどの居場所づくり	13	15.1%	35	12.2%	80	17.5%	128	15.4%
結婚促進に向けた取組の充実	9	10.5%	31	10.8%	26	5.7%	66	8.0%
生活困窮世帯への支援	13	15.1%	50	17.4%	72	15.8%	135	16.3%
在宅生活を支える福祉サービスの充実	15	17.4%	92	32.1%	130	28.4%	237	28.6%
地域における福祉学習の推進	14	16.3%	27	9.4%	31	6.8%	72	8.7%
学校における福祉学習の推進	20	23.3%	38	13.2%	29	6.3%	87	10.5%
広報紙等を活用した情報発信の充実	11	12.8%	56	19.5%	97	21.2%	164	19.8%
介護保険サービスの充実	16	18.6%	102	35.5%	160	35.0%	278	33.5%
障がい福祉サービスの充実	14	16.3%	54	18.8%	47	10.3%	115	13.9%
その他	0	0.0%	1	0.3%	4	0.9%	5	0.6%
特にない	24	27.9%	33	11.5%	54	11.8%	111	13.4%

充実を希望する社会福祉協議会が行う活動・支援として、18～39歳では、「特にない」が27.9%と最も高く、次いで、「学校における福祉学習の推進」23.3%となっています。

40歳以上では、「介護保険サービスの充実」が最も高く、次いで、「在宅生活を支える福祉サービスの充実」となっています。

年齢×問40 自分でお金の管理やささまざまな手続きを行うことが難しくなったとき、代わりにしてくれる人はいますか。

	～39歳		～64歳		65歳～		合計	
ひとりだけいる	17	19.8%	76	26.8%	152	35.2%	245	30.5%
ふたり以上いる	41	47.7%	155	54.6%	243	56.3%	439	54.7%
いない	8	9.3%	29	10.2%	20	4.6%	57	7.1%
わからない	20	23.3%	24	8.5%	17	3.9%	61	7.6%
合計	86	—	284	—	432	—	802	—

お金の管理やささまざまな手続きを行うことが難しくなったとき、代わりにしてくれる人の有無として、全ての世代で、「ふたり以上いる」が最も高くなっています。

「いない」、「わからない」の割合は、若い世代ほど高くなっています。

65歳以上でも約8%が「いない」、「わからない」となっています。

年齢×問41 お金の管理やささまざまな手続きを代わりにしてくれる人は誰ですか。(いくつでも)

	～39歳 (n=58)		～64歳 (n=231)		65歳～ (n=395)		合計 (n=684)	
配偶者	26	44.8%	179	77.5%	218	55.2%	423	61.8%
子	11	19.0%	141	61.0%	296	74.9%	448	65.5%
子の配偶者	2	3.4%	10	4.3%	80	20.3%	92	13.5%
孫	1	1.7%	2	0.9%	21	5.3%	24	3.5%
きょうだい	27	46.6%	34	14.7%	29	7.3%	90	13.2%
その他	20	34.5%	9	3.9%	8	2.0%	37	5.4%

お金の管理やささまざまな手続きを行ってくれる人の続柄として、18～39歳では、「きょうだい」が46.6%と最も高く、次いで、「配偶者」44.8%となっています。

40～64歳では、「配偶者」が77.5%と最も高く、次いで、「子」が61.0%となっています。

65歳以上では、「子」が74.9%で最も高く、次いで、「配偶者」が55.2%となっています。

年齢×問42 お金の管理やさまざまな手続きができなくなったとき、代わりにしてくれる制度を利用しようと思いますか。

	～39歳		～64歳		65歳～		合計	
利用したい	5	17.9%	18	35.3%	11	30.6%	34	29.6%
利用したいと思わない	5	17.9%	7	13.7%	7	19.4%	19	16.5%
わからない	18	64.3%	26	51.0%	18	50.0%	62	53.9%
合計	28	—	51	—	36	—	115	—

お金の管理やさまざまな手続きができなくなったとき、代わりにしてくれる制度を利用意思として、全ての世代で、「わからない」が最も高くなっています。

65歳以上の19.4%が「利用したいと思わない」となっています。

年齢×問43 利用したいと思わない理由は何ですか。(いくつでも)

	～39歳 (n=5)		～64歳 (n=7)		65歳～ (n=7)		合計 (n=19)	
手続きの方法がわからない	1	20.0%	3	42.9%	1	14.3%	5	26.3%
どのような効果があるのかわからない	2	40.0%	2	28.6%	0	0.0%	4	21.1%
お金がかかる	2	40.0%	1	14.3%	1	14.3%	4	21.1%
誰が代わりにするのかわからない	4	80.0%	5	71.4%	2	28.6%	11	57.9%
制度を知らないから	2	40.0%	3	42.9%	2	28.6%	7	36.8%
不正が心配だから	4	80.0%	6	85.7%	5	71.4%	15	78.9%
その他	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	1	5.3%

お金の管理やさまざまな手続きができなくなったとき、代わりにしてくれる制度を利用したくない理由として、全ての世代で、「不正が心配だから」が最も高くなっています。次いで、「誰が代わりにするのかわからない」となっています。

年齢×問44 あなたは成年後見制度について知っていますか。

	～39歳		～64歳		65歳～		合計	
制度内容や手続方法を知っている	16	19.3%	46	16.3%	62	15.0%	124	15.9%
名称は聞いたことある	30	36.1%	160	56.7%	235	56.8%	425	54.6%
わからない	37	44.6%	76	27.0%	117	28.3%	230	29.5%
合計	83	—	282	—	414	—	779	—

成年後見制度の認知度として、18～39歳では、「わからない」が44.6%で最も高く、次いで、「名称は聞いたことある」36.1%となっています。

40歳以上では、「名称は聞いたことある」が最も高く、次いで、「わからない」となっています。全体の29.5%が「わからない」となっており、制度の認知度に課題があることが伺えます。

年齢×問45 成年後見制度の相談窓口を知っていますか。(いくつでも)

	～39歳(n=46)		～64歳(n=206)		65歳～(n=297)		合計(n=549)	
家庭裁判所	10	21.7%	35	17.0%	63	21.2%	108	19.7%
法テラス	7	15.2%	21	10.2%	20	6.7%	48	8.7%
法律、財産管理の専門家(弁護士など)	7	15.2%	29	14.1%	49	16.5%	85	15.5%
市役所(地域包括支援センターなど)	13	28.3%	67	32.5%	117	39.4%	197	35.9%
ばあとなあ兵庫(社会福祉士)	1	2.2%	4	1.9%	3	1.0%	8	1.5%
社会福祉協議会	6	13.0%	26	12.6%	58	19.5%	90	16.4%
その他	0	0.0%	2	1.0%	1	0.3%	3	0.5%
わからない	26	56.5%	98	47.6%	105	35.4%	229	41.7%

成年後見制度の相談窓口の認知度として、全ての世代で、「わからない」が最も多く、全体の41.7%となっており、相談窓口の周知に課題があると認められます。

年齢×問46 非行や犯罪をした人の立ち直りのために必要だと思うことはありますか。(いくつでも)

	～39歳(n=86)		～64歳(n=287)		65歳～(n=452)		合計(n=830)	
住まいの確保	26	30.2%	87	30.3%	135	29.5%	248	29.9%
就労支援	50	58.1%	191	66.6%	254	55.6%	495	59.6%
就学支援	36	41.9%	101	35.2%	106	23.2%	243	29.3%
経済的な支援	25	29.1%	57	19.9%	88	19.3%	170	20.5%
地域住民の理解	36	41.9%	109	38.0%	181	39.6%	326	39.3%
人とのつながり	36	41.9%	114	39.7%	162	35.4%	312	37.6%
その他	3	3.5%	5	1.7%	2	0.4%	10	1.2%
わからない	15	17.4%	43	15.0%	75	16.4%	133	16.0%

非行や犯罪をした人の立ち直りのために必要と思うこととして、全ての世代で、「就労支援」が最も多く、全体の59.6%となっています。次いで、「地域住民の理解」、「人とのつながり」となっています。

世代間で大きな違いは認められません。

年齢×問47 あなたは非行や犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。

	～39歳		～64歳		65歳～		合計	
思う	4	4.8%	19	6.8%	44	11.1%	67	8.8%
どちらかといえば思う	16	19.0%	79	28.1%	138	34.7%	233	30.5%
どちらかといえば思わない	19	22.6%	61	21.7%	77	19.3%	157	20.6%
思わない	19	22.6%	32	11.4%	34	8.5%	85	11.1%
わからない	26	31.0%	90	32.0%	105	26.4%	221	29.0%
合計	84	—	281	—	398	—	763	—

非行や犯罪をした人の立ち直りへの協力について、18～39歳では、「わからない」が31.0%で最も高く、次いで、「(どちらかといえば)思わない」が22.6%となっています。

40～64歳では、「わからない」が32.0%と最も高く、次いで、「どちらかといえば思う」が28.1%となっています。

65歳以上では、「どちらかといえば思う」が34.7%と最も高く、次いで、「わからない」が26.4%となっています。

18～64歳では、「(どちらかといえば)思わない」が「(どちらかといえば)思う」を上回っていますが、65歳以上では、「(どちらかといえば)思う」の割合が高くなっています。

年齢×問48 協力したいと思わない理由は何ですか。(いくつでも)

	～39歳(n=64)		～64歳(n=183)		65歳～(n=215)		合計(n=462)	
自分や家族の身に何か起きないか不安だから	32	50.0%	73	39.9%	52	24.1%	157	33.9%
非行や犯罪をした人と、かわりを持ちたくないから	21	32.8%	35	19.1%	38	17.6%	94	20.3%
非行や犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから	25	39.1%	97	53.0%	122	56.5%	244	52.7%
非行や犯罪をした人の支援などは国や市役所などの行政が行うべき	10	15.6%	12	6.6%	29	13.4%	51	11.0%
時間的余裕がないから	14	21.9%	35	19.1%	23	10.6%	72	15.6%
興味がないから	9	14.1%	11	6.0%	19	8.8%	39	8.4%
具体的なイメージがわからないから	18	28.1%	71	38.8%	65	30.1%	154	33.3%
非行や犯罪をした人に支援すべきでないから	4	6.3%	12	6.6%	8	3.7%	24	5.2%
その他	0	0.0%	6	3.3%	14	6.5%	20	4.3%

非行や犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思わない理由について、18～39歳では、「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」が50.0%で最も高く、次いで、「非行や犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」が39.1%となっています。

40～64歳では、「非行や犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」が53.0%と最も高く、次いで、「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」が39.9%となっています。

65歳以上では、「非行や犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」が56.5%と最も高く、次いで、「具体的なイメージがわからないから」が30.1%となっています。

「非行や犯罪をした人に支援すべきでないから」という理由は、全体の5.2%となっています。

年齢×問49 名称や内容について知っていますか。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
生活困窮者自立支援制度	名称も内容も知っていた	21	25.3%	49	17.5%	60	15.0%	130	17.0%
	名称は知っていたが内容は知らなかった	27	32.5%	124	44.3%	185	46.3%	336	44.0%
	名称も内容も知らなかった	35	42.2%	107	38.2%	155	38.8%	297	38.9%
合計		83	-	280	-	400	-	763	-

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
避難行動要支援者支援	名称も内容も知っていた	7	8.4%	33	11.8%	37	9.4%	77	10.2%
	名称は知っていたが内容は知らなかった	16	19.3%	74	26.4%	108	27.4%	198	26.2%
	名称も内容も知らなかった	60	72.3%	173	61.8%	249	63.2%	482	63.7%
合計		83	-	280	-	394	-	757	-

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
個別避難計画	名称も内容も知っていた	9	10.8%	25	9.0%	26	6.6%	60	8.0%
	名称は知っていたが内容は知らなかった	18	21.7%	66	23.7%	96	24.5%	180	23.9%
	名称も内容も知らなかった	56	67.5%	188	67.4%	270	68.9%	514	68.2%
合計		83	-	279	-	392	-	754	-

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
宍粟市みんなの心つなぐ手話言語条	名称も内容も知っていた	8	9.5%	13	4.7%	23	5.9%	44	5.8%
	名称は知っていたが内容は知らなかった	12	14.3%	59	21.1%	97	24.7%	168	22.3%
	名称も内容も知らなかった	64	76.2%	207	74.2%	272	69.4%	543	71.9%
合計		84	-	279	-	392	-	755	-

制度の名称や内容の理解状況について、18～39歳では、「生活困窮者自立支援制度」の理解度が最も高く、「名称も内容も知っていた」が25.3%となっている。次いで、「個別避難計画」が10.8%となっている。

40歳以上では、「生活困窮者自立支援制度」の理解度が最も高く、次いで、「避難行動要支援者支援」となっている。

全ての世代で、「宍粟市みんなの心つなぐ手話言語条例」が最も低く、18～39歳では76.2%、40～64歳では74.2%、65歳以上では69.4%が「名称も内容も知らなかった」となっている。

年齢×問50 社会問題を示す言葉や内容について知っていますか。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
ダブルケア	名称も内容も知っていた	23	27.7%	85	30.6%	78	20.0%	186	24.8%
	名称は知っていたが内容は知らなかった	16	19.3%	49	17.6%	71	18.2%	136	18.1%
	名称も内容も知らなかった	44	53.0%	144	51.8%	241	61.8%	429	57.1%
合計		83	-	278	-	390	-	751	-

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
ヤングケアラー	名称も内容も知っていた	56	67.5%	202	71.6%	216	53.7%	474	61.8%
	名称は知っていたが内容は知らなかった	10	12.0%	37	13.1%	57	14.2%	104	13.6%
	名称も内容も知らなかった	17	20.5%	43	15.2%	129	32.1%	189	24.6%
合計		83	-	282	-	402	-	767	-

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
ワンオペ育児	名称も内容も知っていた	55	65.5%	130	46.3%	73	18.5%	258	34.0%
	名称は知っていたが内容は知らなかった	11	13.1%	57	20.3%	54	13.7%	122	16.1%
	名称も内容も知らなかった	18	21.4%	94	33.5%	267	67.8%	379	49.9%
合計		84	-	281	-	394	-	759	-

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
ワーキングプア	名称も内容も知っていた	28	34.1%	104	37.0%	75	19.0%	207	27.3%
	名称は知っていたが内容は知らなかった	13	15.9%	56	19.9%	59	15.0%	128	16.9%
	名称も内容も知らなかった	41	50.0%	121	43.1%	260	66.0%	422	55.6%
合計		82	-	281	-	394	-	757	-

年齢×問50 社会問題を示す言葉や内容について知っていますか。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
8050問題	名称も内容も知っていた	27	32.5%	98	34.9%	80	20.3%	205	27.0%
	名称は知っていたが内容は知らなかった	10	12.0%	47	16.7%	52	13.2%	109	14.4%
	名称も内容も知らなかった	46	55.4%	136	48.4%	263	66.6%	445	58.6%
合計		83	-	281	-	395	-	759	-

社会問題を示す言葉や内容状況について、全ての世代で、「ヤングケアラー」の理解度が最も高く、18～39歳では67.5%、40～64歳では74.2%、65歳以上では71.6%「名称も内容も知っていた」が53.7%となっている。次いで、18～39歳では、「ワンオペ育児」が65.5%、40～64歳では、「ワンオペ育児」が46.3%、65歳以上では、「8050問題」が20.3%となっている。

18～39歳では、「8050問題」の理解度が最も低く、「名称も内容も知らなかった」が55.4%となっています。40～64歳では、「ダブルケア」が51.8%、65歳以上では、「ワンオペ育児」が67.8%となっている。

年齢×問51 次の社会問題が身近におきた（もしくは知った）場合、あなたならどこに相談しますか。（各名称それぞれ3つまで）

		～39歳(n=86)		～64歳(n=287)		65歳～(n=452)		合計(n=830)	
ダブルケア	家族・親戚・きょうだい	52	60.5%	175	61.0%	182	39.8%	409	49.3%
	友人	16	18.6%	39	13.6%	25	5.5%	80	9.6%
	隣近所の人	3	3.5%	14	4.9%	21	4.6%	38	4.6%
	自治会役員	1	1.2%	12	4.2%	24	5.3%	37	4.5%
	民生委員・児童委員	1	1.2%	21	7.3%	74	16.2%	96	11.6%
	職場の人	8	9.3%	20	7.0%	1	0.2%	29	3.5%
	学校の先生・保育士等	1	1.2%	3	1.0%	4	0.9%	8	1.0%
	市役所などの官公庁	21	24.4%	60	20.9%	49	10.7%	130	15.7%
	地域包括支援センター	9	10.5%	34	11.8%	63	13.8%	106	12.8%
	ケアマネジャー等	12	14.0%	44	15.3%	39	8.5%	95	11.4%
	社会福祉協議会	10	11.6%	36	12.5%	77	16.8%	123	14.8%
	その他	2	2.3%	4	1.4%	6	1.3%	12	1.4%

「ダブルケア」の問題が身近におきた（もしくは知った）場合の相談先として、全ての世代で、「家族・親戚・きょうだい」が最も高く、全体では49.3%となっています。次いで、18～64歳では、「市役所などの官公庁」、65歳以上では、「社会福祉協議会」となっています。

年齢×問51 次の社会問題が身近におきた（もしくは知った）場合、あなたならどこに相談しますか。（各名称それぞれ3つまで）

		～39歳(n=86)		～64歳(n=287)		65歳～(n=452)		合計(n=830)	
ヤングケアラー	家族・親戚・きょうだい	39	45.3%	135	47.0%	135	29.5%	309	37.2%
	友人	18	20.9%	30	10.5%	19	4.2%	67	8.1%
	隣近所の人	3	3.5%	15	5.2%	23	5.0%	41	4.9%
	自治会役員	4	4.7%	19	6.6%	30	6.6%	53	6.4%
	民生委員・児童委員	7	8.1%	55	19.2%	110	24.1%	172	20.7%
	職場の人	4	4.7%	16	5.6%	3	0.7%	23	2.8%
	学校の先生・保育士等	8	9.3%	36	12.5%	21	4.6%	65	7.8%
	市役所などの官公庁	20	23.3%	85	29.6%	69	15.1%	174	21.0%
	地域包括支援センター	11	12.8%	25	8.7%	53	11.6%	89	10.7%
	ケアマネジャー等	5	5.8%	15	5.2%	14	3.1%	34	4.1%
	社会福祉協議会	8	9.3%	34	11.8%	64	14.0%	106	12.8%
	その他	2	2.3%	4	1.4%	5	1.1%	11	1.3%

「ヤングケアラー」の問題が身近におきた（もしくは知った）場合の相談先として、全ての世代で、「家族・親戚・きょうだい」が最も高く、全体では37.2%となっています。次いで、18～64歳では、「市役所などの官公庁」、65歳以上では、「民生委員・児童委員」となっています。

年齢×問51 次の社会問題が身近におきた（もしくは知った）場合、あなたならどこに相談しますか。（各名称それぞれ3つまで）

		～39歳(n=86)		～64歳(n=287)		65歳～(n=452)		合計(n=830)	
ワンオペ育児	家族・親戚・きょうだい	49	57.0%	160	55.7%	143	31.3%	352	42.4%
	友人	22	25.6%	51	17.8%	27	5.9%	100	12.0%
	隣近所の人	3	3.5%	20	7.0%	22	4.8%	45	5.4%
	自治会役員	2	2.3%	12	4.2%	16	3.5%	30	3.6%
	民生委員・児童委員	3	3.5%	36	12.5%	84	18.4%	123	14.8%
	職場の人	9	10.5%	15	5.2%	3	0.7%	27	3.3%
	学校の先生・保育士等	5	5.8%	20	7.0%	15	3.3%	40	4.8%
	市役所などの官公庁	20	23.3%	68	23.7%	68	14.9%	156	18.8%
	地域包括支援センター	8	9.3%	12	4.2%	43	9.4%	63	7.6%
	ケアマネジャー等	1	1.2%	6	2.1%	7	1.5%	14	1.7%
	社会福祉協議会	5	5.8%	30	10.5%	55	12.0%	90	10.8%
	その他	3	3.5%	4	1.4%	6	1.3%	13	1.6%

「ワンオペ育児」の問題が身近におきた（もしくは知った）場合の相談先として、全ての世代で、「家族・親戚・きょうだい」が最も高く、全体では42.4%となっています。次いで、18～39歳では、「友人」が25.6%、40～64歳では、「市役所などの官公庁」が23.7%、65歳以上では、「民生委員・児童委員」が18.4%となっています。

年齢×問51 次の社会問題が身近におきた（もしくは知った）場合、あなたならどこに相談しますか。（各名称それぞれ3つまで）

		～39歳(n=86)		～64歳(n=287)		65歳～(n=452)		合計(n=830)	
ワーキングプア	家族・親戚・きょうだい	44	51.2%	139	48.4%	120	26.3%	303	36.5%
	友人	18	20.9%	36	12.5%	19	4.2%	73	8.8%
	隣近所の人	0	0.0%	10	3.5%	11	2.4%	21	2.5%
	自治会役員	3	3.5%	13	4.5%	16	3.5%	32	3.9%
	民生委員・児童委員	2	2.3%	28	9.8%	73	16.0%	103	12.4%
	職場の人	9	10.5%	20	7.0%	13	2.8%	42	5.1%
	学校の先生・保育士等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	市役所などの官公庁	31	36.0%	113	39.4%	105	23.0%	249	30.0%
	地域包括支援センター	8	9.3%	16	5.6%	47	10.3%	71	8.6%
	ケアマネジャー等	1	1.2%	5	1.7%	5	1.1%	11	1.3%
	社会福祉協議会	8	9.3%	28	9.8%	66	14.4%	102	12.3%
	その他	4	4.7%	5	1.7%	6	1.3%	15	1.8%

「ワーキングプア」の問題が身近におきた（もしくは知った）場合の相談先として、全ての世代で、「家族・親戚・きょうだい」が最も高く、全体では36.5%となっています。次いで、「市役所などの官公庁」が30.0%となっています。

年齢×問51 次の社会問題が身近におきた（もしくは知った）場合、あなたならどこに相談しますか。（各名称それぞれ3つまで）

		～39歳(n=86)		～64歳(n=287)		65歳～(n=452)		合計(n=830)	
8050問題	家族・親戚・きょうだい	39	45.3%	138	48.1%	134	29.3%	311	37.5%
	友人	15	17.4%	39	13.6%	16	3.5%	70	8.4%
	隣近所の人	3	3.5%	15	5.2%	14	3.1%	32	3.9%
	自治会役員	1	1.2%	14	4.9%	22	4.8%	37	4.5%
	民生委員・児童委員	3	3.5%	35	12.2%	78	17.1%	116	14.0%
	職場の人	4	4.7%	10	3.5%	2	0.4%	16	1.9%
	学校の先生・保育士等	0	0.0%	1	0.3%	1	0.2%	2	0.2%
	市役所などの官公庁	32	37.2%	89	31.0%	78	17.1%	199	24.0%
	地域包括支援センター	12	14.0%	30	10.5%	55	12.0%	97	11.7%
	ケアマネジャー等	3	3.5%	10	3.5%	23	5.0%	36	4.3%
	社会福祉協議会	11	12.8%	44	15.3%	81	17.7%	136	16.4%
	その他	2	2.3%	5	1.7%	5	1.1%	12	1.4%

8050問題の問題が身近におきた（もしくは知った）場合の相談先として、全ての世代で、「家族・親戚・きょうだい」が最も高く、全体では37.5%となっています。次いで、18～64歳では、「市役所などの官公庁」、65歳以上では、「社会福祉協議会」となっています。

年齢×問52 宍粟市における地域福祉の取組の現状（満足度）について

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
市民活動・ボランティアへの参画促進	満足	6	7.2%	6	2.2%	18	5.2%	30	4.3%
	やや満足	10	12.0%	59	22.1%	84	24.1%	153	21.9%
	やや不満	10	12.0%	27	10.1%	46	13.2%	83	11.9%
	不満	0	0.0%	6	2.2%	14	4.0%	20	2.9%
	わからない	57	68.7%	169	63.3%	187	53.6%	413	59.1%
		83	—	267	—	349	—	699	—

市民活動・ボランティアへの参画促進の取組の現状（満足度）として、全ての世代で、「わからない」が最も多く、全体の59.1%となっており、市民活動・ボランティアへの参画促進の取組が理解されていないことが伺えます。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
地域や学校での福祉学習の推進	満足	24	28.9%	36	13.3%	53	14.9%	113	15.9%
	やや満足	23	27.7%	103	38.0%	114	32.1%	240	33.9%
	やや不満	6	7.2%	29	10.7%	42	11.8%	77	10.9%
	不満	3	3.6%	3	1.1%	4	1.1%	10	1.4%
	わからない	27	32.5%	100	36.9%	142	40.0%	269	37.9%
		83	—	271	—	355	—	709	—

地域や学校での福祉学習の推進の取組の現状（満足度）として、18～39歳では、「わからない」が32.5%、40～64歳では、「やや満足」が38.0%、65歳以上では、「わからない」が40.0%となっています。世代が高いほど、満足度、認知度が低い傾向が認められます。

年齢×問52 宍粟市における地域福祉の取組の現状（満足度）について

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
小地域福祉活動の活性化	満足	10	12.0%	18	6.6%	55	15.5%	83	11.7%
	やや満足	26	31.3%	91	33.6%	133	37.5%	250	35.3%
	やや不満	7	8.4%	35	12.9%	50	14.1%	92	13.0%
	不満	3	3.6%	9	3.3%	12	3.4%	24	3.4%
	わからない	37	44.6%	118	43.5%	105	29.6%	260	36.7%
		83	—	271	—	355	—	709	—

小地域福祉活動の活性化の取組の現状（満足度）として、18～64歳では、「わからない」が最も多く、40～64歳では、「やや満足」が37.5%と最も多くなっています。世代が若いほど、満足度、認知度が低い傾向が認められます。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
地域福祉資源の活用・開発	満足	9	10.8%	18	6.6%	38	10.6%	65	9.1%
	やや満足	18	21.7%	70	25.8%	117	32.7%	205	28.8%
	やや不満	9	10.8%	38	14.0%	48	13.4%	95	13.3%
	不満	2	2.4%	5	1.8%	12	3.4%	19	2.7%
	わからない	45	54.2%	140	51.7%	143	39.9%	328	46.1%
		83	—	271	—	358	—	712	—

地域福祉資源の活用・開発の取組の現状（満足度）として、全ての世代で、「わからない」が最も多くなっています。世代が若いほど、認知度が低い傾向が認められます。

年齢×問52 宍粟市における地域福祉の取組の現状（満足度）について

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
専門職の育成	満足	7	8.4%	7	2.6%	20	5.7%	34	4.8%
	やや満足	15	18.1%	48	17.6%	69	19.8%	132	18.8%
	やや不満	13	15.7%	52	19.1%	60	17.2%	125	17.8%
	不満	3	3.6%	16	5.9%	24	6.9%	43	6.1%
	わからない	45	54.2%	149	54.8%	175	50.3%	369	52.5%
		83	—	272	—	348	—	703	—

専門職の育成の取組の現状（満足度）として、全ての世代で、「わからない」が最も多くなっています。全ての世代で、「（やや）満足」と「（やや）不満」が均衡しており、満足度、理解度ともに低いと認められます。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
情報発信の強化	満足	12	14.6%	22	8.1%	44	12.7%	78	11.1%
	やや満足	25	30.5%	100	36.8%	151	43.6%	276	39.4%
	やや不満	13	15.9%	56	20.6%	51	14.7%	120	17.1%
	不満	4	4.9%	10	3.7%	16	4.6%	30	4.3%
	わからない	28	34.1%	84	30.9%	84	24.3%	196	28.0%
		82	—	272	—	346	—	700	—

情報発信の強化の取組の現状（満足度）として、18～39歳では、「わからない」34.1%と最も多く、40歳以上では、「やや満足」が最も多くなっています。「（やや）満足」が「（やや）不満」を上回っていますが、「（やや）不満」が2割程度あり、理解度から関心が高い取り組みであると推測されます。

年齢×問52 宍粟市における地域福祉の取組の現状（満足度）について

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
相談窓口の充実	満足	10	12.0%	12	4.4%	25	7.2%	47	6.7%
	やや満足	17	20.5%	68	25.0%	109	31.4%	194	27.6%
	やや不満	10	12.0%	41	15.1%	58	16.7%	109	15.5%
	不満	2	2.4%	13	4.8%	20	5.8%	35	5.0%
	わからない	44	53.0%	138	50.7%	135	38.9%	317	45.2%
		83	—	272	—	347	—	702	—

相談窓口の取組の現状（満足度）として、全ての世代で、「わからない」が最も多くなっています。世代が高いほど、理解度が高く、「（やや）満足」・「（やや）不満」も高いことが認められます。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
生活困窮者などへの支援	満足	6	7.2%	5	1.8%	11	3.2%	22	3.2%
	やや満足	12	14.5%	38	14.0%	69	20.1%	119	17.0%
	やや不満	8	9.6%	31	11.4%	61	17.7%	100	14.3%
	不満	3	3.6%	7	2.6%	17	4.9%	27	3.9%
	わからない	54	65.1%	190	70.1%	186	54.1%	430	61.6%
		83	—	271	—	344	—	698	—

生活困窮者などへの支援の取組の現状（満足度）として、全ての世代で、「わからない」が最も多くなっています。「（やや）満足」と「（やや）不満」に近い割合となっています。

年齢×問52 宍粟市における地域福祉の取組の現状（満足度）について

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
緊急時における避難行動要支援者への支援	満足	7	8.4%	8	3.0%	16	4.7%	31	4.5%
	やや満足	13	15.7%	51	18.8%	76	22.3%	140	20.1%
	やや不満	11	13.3%	43	15.9%	78	22.9%	132	19.0%
	不満	4	4.8%	6	2.2%	19	5.6%	29	4.2%
	わからない	48	57.8%	163	60.1%	152	44.6%	363	52.2%
		83	—	271	—	341	—	695	—

緊急時における避難行動要支援者への支援の取組の現状（満足度）として、全ての世代で、「わからない」が最も多くなっています。「（やや）満足」と「（やや）不満」が近い割合となっています。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
支え合いのまちづくり	満足	12	14.5%	13	4.8%	30	8.6%	55	7.8%
	やや満足	15	18.1%	85	31.4%	125	35.8%	225	32.0%
	やや不満	11	13.3%	33	12.2%	59	16.9%	103	14.7%
	不満	2	2.4%	5	1.8%	13	3.7%	20	2.8%
	わからない	43	51.8%	135	49.8%	122	35.0%	300	42.7%
		83	—	271	—	349	—	703	—

支え合いのまちづくりの取組の現状（満足度）として、18～64歳では、「わからない」が最も多く、65歳以上では、「やや満足」が35.8%と最も多くなっています。全ての世代で、「（やや）満足」が「（やや）不満」を上回っています。

年齢×問52 宍粟市における地域福祉の取組の現状（満足度）について

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
すべての人にやさしいまちづくり	満足	8	9.6%	6	2.2%	17	4.9%	31	4.4%
	やや満足	13	15.7%	53	19.5%	86	24.6%	152	21.6%
	やや不満	16	19.3%	52	19.1%	80	22.9%	148	21.0%
	不満	4	4.8%	9	3.3%	15	4.3%	28	4.0%
	わからない	42	50.6%	152	55.9%	151	43.3%	345	49.0%
		83	—	272	—	349	—	704	—

すべての人にやさしいまちづくりの取組の現状（満足度）として、全ての世代で、「わからない」が最も多くなっています。「（やや）満足」と「（やや）不満」が近い割合となっています。

年齢×問52 宍粟市における地域福祉の取組の現状（重要度）について

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
市民活動・ボランティアへの参画促進	重要	15	18.3%	72	27.3%	122	35.7%	209	30.4%
	やや重要	30	36.6%	100	37.9%	119	34.8%	249	36.2%
	あまり重要でない	6	7.3%	14	5.3%	15	4.4%	35	5.1%
	重要でない	1	1.2%	2	0.8%	1	0.3%	4	0.6%
	わからない	30	36.6%	76	28.8%	85	24.9%	191	27.8%
		82	—	264	—	342	—	688	—

市民活動・ボランティアへの参画促進の取組の現状（重要度）として、18～39歳では、「やや重要」と「わからない」が36.6%と最も多く、40～64歳では、「重要」が37.9%、65歳以上では、「やや重要」が36.2%で最も多くなっています。
 世代と比例して、重要度が高いと考えている傾向が認められます。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
地域や学校での福祉学習の推進	重要	39	48.1%	83	31.0%	121	35.7%	243	35.3%
	やや重要	25	30.9%	107	39.9%	129	38.1%	261	37.9%
	あまり重要でない	3	3.7%	19	7.1%	17	5.0%	39	5.7%
	重要でない	1	1.2%	5	1.9%	4	1.2%	10	1.5%
	わからない	13	16.0%	54	20.1%	68	20.1%	135	19.6%
		81	—	268	—	339	—	688	—

地域や学校での福祉学習の推進の取組の現状（重要度）として、18～39歳では、「重要」が48.1%と最も多く、40～64歳では、「やや重要」が39.9%、65歳以上では、「やや重要」が38.1%で最も多くなっています。
 18～39歳で重要と考えている割合が高いことが認められます。

年齢×問52 宍粟市における地域福祉の取組の現状（重要度）について

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
小地域福祉活動の活性化	重要	22	26.8%	66	24.7%	95	28.0%	183	26.6%
	やや重要	25	30.5%	98	36.7%	142	41.9%	265	38.5%
	あまり重要でない	7	8.5%	28	10.5%	32	9.4%	67	9.7%
	重要でない	6	7.3%	13	4.9%	16	4.7%	35	5.1%
	わからない	22	26.8%	62	23.2%	54	15.9%	138	20.1%
		82	—	267	—	339	—	688	—

小地域福祉活動の活性化の取組の現状（重要度）として、全ての世代で、「やや重要」が最も高くなっています。
 「（あまり）重要でない」の割合が15%前後あり、小地域福祉活動の活性化は、やや重要度が低いとされていることが伺えます。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
地域福祉資源の活用・開発	重要	27	33.3%	78	29.2%	107	31.1%	212	30.6%
	やや重要	22	27.2%	99	37.1%	136	39.5%	257	37.1%
	あまり重要でない	7	8.6%	13	4.9%	23	6.7%	43	6.2%
	重要でない	0	0.0%	4	1.5%	2	0.6%	6	0.9%
	わからない	25	30.9%	73	27.3%	76	22.1%	174	25.1%
		81	—	267	—	344	—	692	—

地域福祉資源の活用・開発の取組の現状（重要度）として、18～39歳では、「重要」が33.3%と最も多く、40歳以上では、「やや重要」が最も多くなっています。

年齢×問52 宍粟市における地域福祉の取組の現状（重要度）について

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
専門職の育成	重要	37	45.7%	114	42.5%	134	39.4%	285	41.4%
	やや重要	20	24.7%	85	31.7%	118	34.7%	223	32.4%
	あまり重要でない	2	2.5%	10	3.7%	8	2.4%	20	2.9%
	重要でない	0	0.0%	1	0.4%	1	0.3%	2	0.3%
	わからない	22	27.2%	58	21.6%	79	23.2%	159	23.1%
		81	—	268	—	340	—	689	—

専門職の育成の取組の現状（重要度）として、全ての世代で、「重要」が最も多く、全体の51.4%となっています。
専門職の育成の取組が重要と考えられていることが伺えます。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
情報発信の強化	重要	35	43.8%	123	45.9%	140	41.4%	298	43.4%
	やや重要	22	27.5%	80	29.9%	131	38.8%	233	34.0%
	あまり重要でない	2	2.5%	12	4.5%	15	4.4%	29	4.2%
	重要でない	1	1.3%	2	0.7%	3	0.9%	6	0.9%
	わからない	20	25.0%	51	19.0%	49	14.5%	120	17.5%
		80	—	268	—	338	—	686	—

情報発信の強化の取組の現状（重要度）として、全ての世代で、「重要」が最も多く、全体の43.4%となっています。
情報発信の強化の取組が重要と考えられていることが伺えます。

年齢×問52 宍粟市における地域福祉の取組の現状（重要度）について

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
相談窓口の充実	重要	37	45.7%	134	50.4%	173	51.2%	344	50.2%
	やや重要	15	18.5%	72	27.1%	94	27.8%	181	26.4%
	あまり重要でない	3	3.7%	6	2.3%	10	3.0%	19	2.8%
	重要でない	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	1	0.1%
	わからない	26	32.1%	54	20.3%	60	17.8%	140	20.4%
		81	—	266	—	338	—	685	—

相談窓口の充実の取組の現状（重要度）として、全ての世代で、「重要」が最も多く、全体の50.2%となっています。
相談窓口の充実の取組が重要と考えられていることが伺えます。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
生活困窮者などへの支援	重要	36	44.4%	115	43.1%	135	39.5%	286	41.4%
	やや重要	14	17.3%	78	29.2%	117	34.2%	209	30.3%
	あまり重要でない	5	6.2%	5	1.9%	14	4.1%	24	3.5%
	重要でない	1	1.2%	2	0.7%	1	0.3%	4	0.6%
	わからない	25	30.9%	67	25.1%	75	21.9%	167	24.2%
		81	—	267	—	342	—	690	—

生活困窮者などへの支援の取組の現状（重要度）として、全ての世代で、「重要」が最も多く、全体の41.4%となっています。
生活困窮者などへの支援の取組が重要と考えられていることが伺えます。

年齢×問52 宍粟市における地域福祉の取組の現状（重要度）について

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
緊急時における避難行動要支援者への支援	重要	40	50.0%	161	60.3%	192	56.5%	393	57.2%
	やや重要	19	23.8%	52	19.5%	81	23.8%	152	22.1%
	あまり重要でない	1	1.3%	5	1.9%	9	2.6%	15	2.2%
	重要でない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	わからない	20	25.0%	49	18.4%	58	17.1%	127	18.5%
		80	—	267	—	340	—	687	—

緊急時における避難行動要支援者への支援の取組の現状（重要度）として、全ての世代で、「重要」が最も多く、全体の57.2%となっています。

緊急時における避難行動要支援者への支援の取組が重要と考えられていることが伺えます。

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
支え合いのまちづくり	重要	37	45.7%	126	47.4%	157	46.0%	320	46.5%
	やや重要	18	22.2%	81	30.5%	116	34.0%	215	31.3%
	あまり重要でない	3	3.7%	4	1.5%	11	3.2%	18	2.6%
	重要でない	1	1.2%	2	0.8%	2	0.6%	5	0.7%
	わからない	22	27.2%	53	19.9%	55	16.1%	130	18.9%
		81	—	266	—	341	—	688	—

支え合いのまちづくりの取組の現状（重要度）として、全ての世代で、「重要」が最も多く、全体の46.5%となっています。

支え合いのまちづくりの取組が重要と考えられていることが伺えます。

年齢×問52 宍粟市における地域福祉の取組の現状（重要度）について

		～39歳		～64歳		65歳～		合計	
すべての人にやさしいまちづくり	重要	35	43.8%	124	46.8%	166	48.5%	325	47.3%
	やや重要	22	27.5%	80	30.2%	104	30.4%	206	30.0%
	あまり重要でない	3	3.8%	4	1.5%	10	2.9%	17	2.5%
	重要でない	0	0.0%	0	0.0%	3	0.9%	3	0.4%
	わからない	20	25.0%	57	21.5%	59	17.3%	136	19.8%
		80	—	265	—	342	—	687	—

すべての人にやさしいまちづくりの取組の現状（重要度）として、全ての世代で、「重要」が最も多く、全体の47.3%となっています。すべての人にやさしいまちづくりの取組が重要と考えられていることが伺えます。

年齢×問53 今後、地域福祉を進めるために宍粟市はどのような施策を優先して取り組んでいくべきだと思いますか。（3つまで）

	～39歳		～64歳		65歳～		合計	
地域住民同士が助け合い、支え合う仕組みづくり	29	33.7%	119	41.5%	217	47.5%	365	44.0%
地域の福祉相談窓口の充実	25	29.1%	114	39.7%	143	31.3%	282	34.0%
地域の福祉活動の中心を担う人材の育成・確保	26	30.2%	91	31.7%	157	34.4%	274	33.0%
ボランティアやNPOの育成と活動支援	8	9.3%	38	13.2%	43	9.4%	89	10.7%
地域の福祉活動拠点の充実・環境づくり	15	17.4%	55	19.2%	71	15.5%	141	17.0%
地域福祉活動のネットワークづくり	20	23.3%	45	15.7%	41	9.0%	106	12.8%
福祉に関する情報提供体制の整備	16	18.6%	65	22.6%	86	18.8%	167	20.1%
福祉に関する講習会や講演会の充実	5	5.8%	9	3.1%	18	3.9%	32	3.9%
公共施設のバリアフリー化	18	20.9%	33	11.5%	42	9.2%	93	11.2%
災害時の避難行動要支援者への支援の充実	13	15.1%	63	22.0%	117	25.6%	193	23.3%
その他	2	2.3%	9	3.1%	2	0.4%	13	1.6%

地域福祉を進めるために優先して取り組んでいくべき施策について、全ての世代で、「地域住民同士が助け合い、支え合う仕組みづくり」が最も多くなっています。

世代	1番		2番		3番	
18～39歳	地域住民同士が助け合い、支え合う仕組みづくり	33.7%	地域の福祉活動の中心を担う人材の育成・確保	30.2%	地域の福祉相談窓口の充実	29.1%
40～64歳	地域住民同士が助け合い、支え合う仕組みづくり	41.5%	地域の福祉相談窓口の充実	39.7%	地域の福祉活動の中心を担う人材の育成・確保	31.7%
65歳以上	地域住民同士が助け合い、支え合う仕組みづくり	47.5%	地域の福祉活動の中心を担う人材の育成・確保	34.4%	地域の福祉相談窓口の充実	31.3%